

# 音楽診断

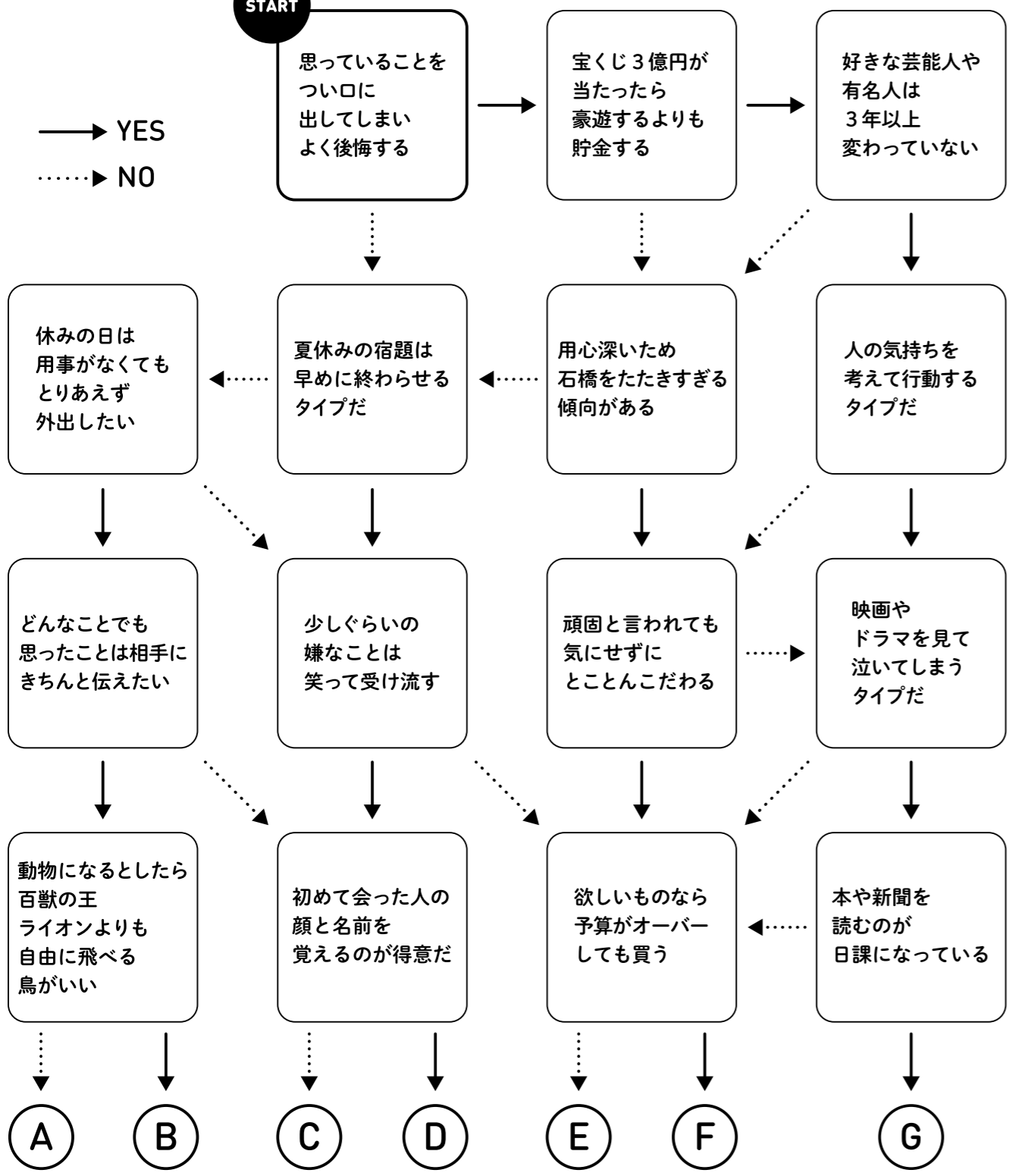
## 第6回 名作オペラ編

『ヴァン』オリジナルでお届けする音楽診断企画の第6弾。今回のテーマは名作オペラです。有名な名作オペラの登場人物7人の中から、あなたに似ている人物をご紹介します。

監修・解説=岸 純信  
Text=Suminobu Kishi



START



### 名作オペラあらすじ

登場人物を  
ご覧いただく前に……

#### 『カルメン』

(初演:1875年3月3日/  
パリ、オペラ=コミック座)

まじめな軍人ホセが、野性的な「流浪の民の女」カルメンに魅入られ、彼女の愛のとりこになってしまった結果、軍隊を脱走して密輸団の一味に加わることに。最後には、自分を捨てて新しい恋人エスカミーリョのもとに走るカルメンが許せず、刺し殺してしまう。

#### 『アイダ』

(初演:1871年12月24日/  
エジプト、カイロ歌劇場)

古代エジプトの女奴隷アイダは、実は敗戦国エチオピアの王女でありながら、身分を隠してエジプトの王女アムネリスに仕えている。そのアムネリスが愛する武将ラダメスは、実はアイダと恋仲の身。2人の関係に気付いたアムネリスは嫉妬に燃え、威嚇する。

#### 『椿姫』

(初演:1853年3月6日/  
ヴェネツィア、フェニーチェ座)

富裕なパトロンに身体を捧げる高級娼婦ヴィオレッタの前に、「心から愛している」と告げる青年アルフレードが現れる。葛藤したうえで、享樂的な暮らしを捨てて彼のもとに走るヴィオレッタだが、青年の父に別れを強要された拳句、胸の病で死の床についてしまう。

#### 『愛の妙薬』

(初演:1832年5月12日/  
ミラノ、カノッピアナ劇場)

純朴青年ネモリーノは気の強い娘アディーナに恋するが、彼女は優柔不断なネモリーノにあてつけるため、軍曹ベルコーレのプロポーズを勢いで受ける。救いを求めてネモリーノは、いかさま医師ドゥルカマールが勧めるまま、愛の妙薬(単なるワイン)を口にします。

#### 『トゥーランドット』

(初演:1926年4月25日/  
ミラノ、スカラ座)

亡国の王子カラフは北京で父王と再会。付き添いの女奴隷リュウに感謝する。皇女トゥーランドット的美貌に魅了されたカラフは、彼女が出す3つの謎を解くが、激怒した皇女は女奴隷リュウを拷問にかける。リュウは「愛の尊さ」を訴えて自刃。王子は皇女を愛で征服する。

**A** 決断力がある行動派  
負けず嫌いだけど人情にあつい  
**アムネリス『アイダ』**

エジプトの王女。武将ラダメスを愛している。女奴隷アイダが自分の恋敵と知ると、「身分の卑しいお前に勝ち目はなし」と散々に痛めつけ、エチオピアに勝利したラダメスと結婚せよと父国王から言われて有頂天になる。



**B** 好奇心旺盛で情熱的  
だけど自由気ままがいちばん  
**カルメン『カルメン』**

流浪の民ロマの女。密輸団とつながっている。興味をもった男にはすぐに言い寄る性格で、軍人ホセを新しい恋人にする。しかし、彼に束縛されたと感じた途端、別の男に乗り換えようとして、ホセに殺される。



**C** いつも穏やかで優しい  
いちずでまっすぐの清廉な人  
**アイダ『アイダ』**

敗戦国エチオピアの王女。父王と生き別れ、身分を隠して敵国エジプトの宮廷に入り、王女アムネリスの女奴隷になる。そこでエジプトの武将ラダメスと恋仲になるが、同じくラダメスを愛するアムネリスに嫉妬される。



**D** チャレンジ精神が強く  
どんな逆境にも立ち向かう  
**カラフ『トゥーランドット』**

国を滅ぼされた西域の王子。目の見えない父王ティムールとは北京の雑踏で再会し、介添いの女奴隷リュウとも巡り合う。絶世の美女であるトゥーランドット姫に求婚し、見事に謎を解き、抵抗する皇女に本物の愛を教える。



**E** 信念は曲げない  
気高いオーラを放つ  
**トゥーランドット『トゥーランドット』**

古代中国の皇女。美しく誇り高い。求婚してくる異国の王子に3つの謎を与え、解けなければ首をはねるという残酷な所業を繰り返す。しかし、流浪の王子カラフが謎を解いたので、抵抗すべく、女奴隷リュウを拷問にかける。



**F** 素直で優しくちょっと不器用  
放っておけない存在  
**ネモリーノ『愛の妙薬』**

田舎の青年。気の強い娘アディーナへの恋心をなかなか言い出せず、愛の妙薬(実は安物のワイン)の力を借りる。しかし、アディーナが軍曹ベルコーレの求婚を受けるので、妙薬をさらに買うべく軍隊に入ろうとする。



**G** 知識豊富で客観的  
コミュニケーション能力も高い  
**ヴィオレッタ『椿姫』**

特定の富裕なパトロンと交際する高級娼婦。上流階級と付き合える教養をもつ。地方出身の青年アルフレードの純粋な愛の告白に、「今の生活を捨てるの？」と葛藤しながらも、結局は彼を受け入れるが、現実の厳しさに直面する。



岸 純信(オペラ研究者)

1963年生まれ。『音楽の友』『レコード芸術』『音楽現代』など雑誌や公演プログラムに寄稿。CD及びDVD解説多数。NHK Eテレ『らららクラシック』、NHK-FM『オペラ・ファンタスティカ』にたびたび出演。新国立劇場オペラ専門委員。静岡国際オペラコンクール企画運営委員。大阪大学外国語学部非常勤講師(オペラ史)。